

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 8 月 7 日 (2008.8.7)

【公開番号】特開 2006-11452 (P2006-11452A)

【公開日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)

【年通号数】公開・登録公報 2006-002

【出願番号】特願 2005-186027 (P2005-186027)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

C 0 8 G 77/26 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/20 5 1 5

G 0 3 G 15/20 5 2 0

C 0 8 G 77/26

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 6 月 20 日 (2008.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材と、

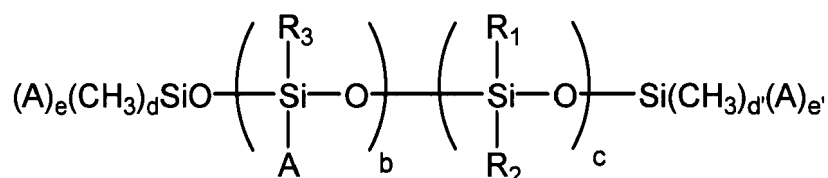
外側ポリマー層と、

前記外側ポリマー層の上の離型剤物質コーティングと、を含み、

前記離型剤物質コーティングは、アミノ - 官能基を有する T - タイプのアミノ - 官能性シロキサン離型剤物質を含み、

前記 T - タイプのアミノ - 官能性シロキサン離型剤物質は、次の化学式で表され：

【化 1】



化学式中、A は、 $-R_4-X$ を表し、

R_4 は、約 1 ～ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表し、

X は、 $-NH_2$ 、または約 1 ～ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表す R_5 を有する $-NHR_5NH_2$ 、を表し、

R_1 と R_2 とは、同一であっても異なってもよく、約 1 ～ 約 25 個の炭素を有するアルキルと、約 4 ～ 約 10 個の炭素を有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、

R_3 は、約 1 ～ 約 500 個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、

b と c とは数値であって、同一であっても異なってもよく、

それぞれが 1 ≤ b ≤ 10 および 1 ≤ c ≤ 10 の条件を満たし、

d と d' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、

e と e' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、 $d + e = 3$ および $d' + e' = 3$ という条件を満たす、定着器部材。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の定着器部材において、

前記化学式中、 R_3 は、ジオルガノシロキサン基以外のものである、定着器部材。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の定着器部材において、

前記 T - タイプのアミノ - 官能性シロキサン離型剤物質は、アミノプロピルメチルシロキシ基によって与えられるアミノ官能性を有する、定着器部材。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の定着器部材において、

前記 T - タイプのアミノ - 官能性シロキサン離型剤物質は、N - (2 - アミノエチル) - 3 - アミノプロピルシロキシ基によって与えられるアミノ官能性を有する、定着器部材。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の定着器部材において、

前記 T - タイプのアミノ官能性シロキサン離型剤物質は、トリアルキルシロキシ末端基を含む、定着器部材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

化学式中、A は、 $-R_4-X$ を表し、 R_4 は、約 1 ~ 約 10 個の炭素有するアルキル基を表し、X は、 $-NH_2$ 、または約 1 ~ 約 10 個の炭素有するアルキル基を表す R_5 を有する $-NHR_5NH_2$ 、を表し、 R_1 と R_2 とは、同一であっても異なってもよく、約 1 ~ 約 25 個の炭素有するアルキルと、約 4 ~ 約 10 個の炭素有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、 R_3 は、約 1 ~ 約 500 個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、b と c とは数値であって、同一であっても異なってもよく、それぞれが $1 \leq b \leq 10$ および $1 \leq c \leq 10$ の条件を満たし、d と d' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、e と e' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、 $d + e = 3$ および $d' + e' = 3$ という条件を満たす。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

化学式中、A は $-R_4-X$ を表し、ここで R_4 は、約 1 ~ 約 10 個の炭素有するアルキル基を表し、X は $-NH_2$ 、または約 1 ~ 約 10 個の炭素有するアルキル基を表す R_5 を有する $-NHR_5NH_2$ 、を表し、 R_1 と R_2 とは、同一であっても異なってもよく、約 1 ~ 約 25 個の炭素有するアルキルと、約 4 ~ 約 10 個の炭素有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、 R_3 は、約 1 ~ 約 500 個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、b と c とは数値であって、同一であっても異なってもよく、それぞれが、 $1 \leq b \leq 10$ および $1 \leq c \leq 10$ の条件を満たし、d と d' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、そして e と e' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、そして $d + e = 3$ および $d' + e' = 3$ という条件を満たす。

。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

化学式中、A は $-R_4-X$ を表し、ここで R_4 は、約 1 ～ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表し、X は $-NH_2$ 、または約 1 ～ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表す R_5 を有する $-NHR_5NH_2$ 、を表し、 R_1 と R_2 とは、同一であっても異なってもよく、約 1 ～ 約 25 個の炭素を有するアルキルと、約 4 ～ 約 10 個の炭素を有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、 R_3 は、約 1 ～ 約 500 個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、b と c とは数値であって、同一であっても異なってもよく、それぞれが、 $1 \leq b \leq 10$ および $1 \leq c \leq 10$ の条件を満たし、d と d' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、そして e と e' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、そして $d + e = 3$ および $d' + e' = 3$ という条件を満たす。

。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

化学式中、A は $-R_4-X$ を表し、ここで R_4 は、約 1 ～ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表し、X は $-NH_2$ 、または約 1 ～ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表す R_5 を有する $-NHR_5NH_2$ 、を表し、 R_1 と R_2 とは、同一であっても異なってもよく、約 1 ～ 約 25 個の炭素を有するアルキルと、約 4 ～ 約 10 個の炭素を有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、 R_3 は、約 1 ～ 約 500 個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、b と c とは数値であって、同一であっても異なってもよく、それぞれが、 $1 \leq b \leq 10$ および $1 \leq c \leq 10$ の条件を満たし、d と d' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、そして e と e' とは数値であって、同一であっても異なってもよく、1 または 2 であり、そして $d + e = 3$ および $d' + e' = 3$ という条件を満たす。

。